

平成17年度 第1回 函館市南茅部地域審議会会議録

開催日時	平成17年7月12日 火曜日 午後2時00分～午後4時35分				
開催場所	函館市南茅部支所3階 第2議員控室				
内 容	<p>報告事項 (1) 前回の意見等の集約結果と取り組み状況について</p> <p>議 題 (1) 合併建設計画地域別個別事業明細表について (2) 平成18年度に向けた地域振興について</p> <p>地域振興全般に関する意見交換</p> <p>その他</p>				
出席委員	秋本委員 高田委員 濱田委員 熊谷委員 竹内委員 田村委員 鎌田委員 関根委員 加藤委員 木村委員 堀野委員 尾上委員 大槌委員 金澤委員 坂本委員 (計15名)				
	・報道関係 北海道新聞社，函館新聞社 (計2社)				
	・傍聴者 (計0名)				
欠席委員	(計0名)				
事務局の出席者の職氏名	南茅部支所長 細井 徹 企画部地域振興室長 梅田誠治 同副支所長 小中捷弘 同地域振興課長 佐藤洋一 南茅部教育事務所長 石坂新一 同地域振興課主査 進藤昭彦 南茅部支所地域振興課長 鎌田輝蔵 同地域振興課主事 池田達也 同住民サービス課長 上遠野輝夫 同保健福祉課長 長谷川大春 教育委員会生涯学習部文化財課 同産業課長 竹田喜代春 参 事 阿部千春 同建設課長 河合満夫 同地域振興課参事 佐々木孝之 同建設課参事 西田俊一 南茅部教育事務所副所長 川端信昭 南茅部支所地域振興課 同参事 加我賢也 主任主事 加我明夫 同地域振興課主事 松村めぐみ (計19名)				

1 開会（午後2時00分）	
事務局 （鎌田課長）	ただ今より，平成17年度第1回函館市南茅部地域審議会を開会する。
2 会長あいさつ	
秋本会長	<p>< 挨拶要点 ></p> <p>当初，6月に開催する予定だったが，市議会や各地域のお祭りなどがあり，本日の開催となった。</p> <p>前回は，17年度の事業計画や予算などについて説明し，質疑を行ったところである。</p> <p>今回は，合併建設計画地域別個別事業明細表や平成18年度に向けた地域振興などについて意見交換したいと考えている。</p> <p>本日は，各事業の説明もあることから，答弁保留などを避けるため，関係管理職にも出席願った。</p> <p>新聞等でもご承知のとおり，4地域では南茅部地域審議会が最後となる。本日の審議会が有意義に終了することを願って，挨拶としたい。</p>
3 支所長あいさつ	
細井支所長	<p>< 挨拶要点 ></p> <p>本審議会の開催にあたり，会議を招集していただき，感謝申し上げます。</p> <p>第2回市議会定例会においても，地元議員から地域審議会のあり方などについて一般質問があった。</p> <p>市長も，審議会は重要な役割を担うものと答えている。</p> <p>合併後の将来を見据え，手探り状態の中で開催してきた審議会も，今回で3回目となる。</p> <p>これから平成18年度の予算編成作業に入っていくが，審議会での意見・要望を踏まえ，予算要求に反映させていきたいと考えている。</p>
4 出席員の報告	
事務局 （鎌田課長）	出席者15人，欠席者0人，地域審議会の設置に関する規程第8条の規定により，会議は成立した。
5 報告事項	(1)前回の意見等の集約結果と取り組み状況について
6 議 題	(1)合併建設計画地域別個別事業明細表について (2)平成18年度に向けた地域振興について
事務局 （佐々木参事）	(資料1のとおり説明)
秋本会長	質疑は，6番目の議題(1)(2)の説明終了後，一括して行う。
事務局 （佐々木参事）	(資料2，資料3のとおり説明)

高田副会長	<p>地場産業振興センターの改築は、漁協が運営しているが、市で整備するのか？</p> <p>児童館の整備として、前回の資料では5千万円の事業費が組まれていたと思うが、今回の資料には記載されていない。その理由は？</p> <p>学校施設の整備で、これまで具体的な学校名は明記されていなかったが、今回、明記された理由は？</p> <p>遺跡事業で、今回、新たに追加となっている事業があるが、当初の計画に新しく追加されたのか？</p> <p>総合コミュニティセンター整備事業は、前期と後期のどちらに計画されているのか？</p> <p>また、基本設計にあたっては、地域住民の声をどのように反映させるのか？</p>
産業課 (竹田課長)	<p>地場産業振興センターの改築については、漁協合併の際、漁協が運営するにあたって、旧南茅部町に求めていたものである。</p> <p>旧町としても、その必要性を市に要望しており、現在、公設民営方式による改築を検討中である。</p> <p>今後、水産振興計画の中で、明らかになっていくものと考えている。</p>
事務局 (佐々木参事)	<p>児童館の整備については、前回の資料でも記載はされておらず、保育園の運営費等は、別途、予算計上していく。</p> <p>学校整備については、全地域で6億6,014万9千円の事業費を計上しているが、今回、地域全体にわたるものと南茅部地域分と区分し、学校名も明記した。遺跡事業についても同様である。</p> <p>総合コミュニティセンターの整備については、各地域会館の集約と今後の管理運営も含め、検討部会を立ち上げ、協議していくこととなっており、基本設計など具体的な作業段階にまだ入っていない。</p>
関根委員	<p>ホテルひろめ荘・保養センター改修事業の基本設計にあたっては、経営者側の意見も取り入れてほしい。</p> <p>バイパス区間の道道移管も重要課題だが、バイパス整備を促進し、道道臼尻豊崎線への早期接続を望む。</p> <p>総合コミュニティセンターについては、商工会としても検討してきている事項なので、特段の配慮をお願いしたい。</p>
細井支所長	<p>保養センター改修については、泉質の影響もあって老朽化していることから、早期の改修計画に取り組んでおり、6月に基本設計を発注し、経営側と行政が協議しながら、基本設計を作っていくと考えている。</p> <p>早ければ、来年度、実施設計を行い、18年度もしくは19年度に改修工事の予定である。</p> <p>バイパスは、現在、安浦まで完成しており、今年、臼尻小学校の上までが路盤工を除き、出来上がる予定である。</p> <p>現在、八雲道路事務所と相談し、暫定的に現臼尻小学校線を利用して供用開始できないかを、公安委員会に協議することとしている。</p> <p>大型車の扱いなど、供用開始の条件等も含め、方向性が決まった段階で、19年度を目途に開発建設部の方へ要望していきたい。</p>

事務局 (佐々木参事)	<p>総合コミュニティセンターについて、商工会で検討を進めてきた経緯は承知している。これまで旧福祉センターは、地域コミュニティの中核的施設として利用されてきたが、教育事務所が管理していることから、市における位置付けは、公民館となっている。</p> <p>今後、地場産業振興センターなどの改築も含めた中で、総合的に検討していく。</p>
秋本会長	<p>さきほど関根委員が、保養センターの改修にあたっては、経営者の意見も取り入れてほしいと要望があったが、そういう機会はあるのか？</p>
細井支所長	<p>設計に入り、叩き台が出来上がった段階で、ご意見をいただきたいと考えている。</p>
関根委員	<p>磨光小学校のグラウンドのトイレが、女性用2つと男性用1つしかない。運動会の時もトイレが詰まって不便だった。避難所にも指定されているはずだが、現状のままでいいのか？</p>
教育事務所 (川端副所長)	<p>必要に応じて、学校のトイレを開放するなどの措置を講じたい。</p>
事務局 (鎌田課長)	<p>避難時には、仮設トイレなどの対応が必要になってくると思われる。</p>
教育事務所 (石坂所長)	<p>利用者の方々に不便を生じさせないように措置を講じたい。</p>
秋本会長	<p>それでは、ただいまから5分間の休憩とする。</p> <p>(休憩)</p>
秋本会長	<p>会議を再開します。他に質疑ありませんか？</p>
田村委員	<p>保養センターの温度設定を改善してほしい。</p> <p>また、露天風呂への階段通路の軒下に蜘蛛の巣が張っていて、外見上好ましくない。</p>
産業課 (竹田課長)	<p>保養センターは、源泉100パーセントで、温度も気候の変化によって変動がある。センター改修にあたり、その辺も改善されるよう配慮したい。</p>
竹内委員	<p>漁港の整備にあたっては、住民の声や環境なども考慮してほしい。</p> <p>例えば、現在計画されている白尻漁港の臨港道路は、漁場の滅失や周辺の景観が損なわれるといったマイナス面も考えられるので、総合的に検討したうえで判断してほしい。</p>

細井支所長	<p>国・道では、大規模な工事を実施するにあたり、環境アセスメント調査を実施し、周辺の環境や魚の回遊などにどのような影響を及ぼすかということ进行调查している。安全就労など人命に関わる点も比較したうえで、協議を進めているところである。</p> <p>特に望路地区については、波が高い日は出漁できなかつたり、危険であったりと、他地区に比べて漁業者が不便を強いられていることから、多少の海面が滅失しても、それを補う効果が得られる方法を検討したうえで、協議を進めていかなければならない。</p> <p>臨港道路についても、現在の市道が急勾配であるため、拡幅が困難な状態にあり、地域の実態から考えても道路の新設は難しい。</p> <p>それらを総合的に考えた場合、安全な道路を整備する方法として、漁港からの臨港道路を検討しているという趣旨をご理解願いたい。</p>
加藤委員	<p>19年度を目途に、現在の市道を暫定供用するということが、具体的な方法は？</p>
細井支所長	<p>暫定供用する条件については、これからの協議となる。</p>
加藤委員	<p>新外環状道路の整備は、どのようになるのか？</p>
細井支所長	<p>産業道路の外側を通過して、古川神社までの区間となる。</p> <p>とりあえず、空港道路まで整備する計画で、将来的には古川神社まで接続する予定である。</p>
企画部 (梅田室長)	<p>函館空港までを外環状道路、古川までを新外環状線という。</p> <p>函館新道のインターチェンジ部分から延ばす計画になっている。</p> <p>7月下旬に、市と議会が合同で行う、国への要望事項として、新外環状線のほかに尾札部道路も合わせて要望している。</p> <p>新外環状線は、北海道新幹線が整備されるまでに、完成させる必要があるとの見解が示されている。</p>
坂本委員	<p>埋蔵文化財展示館については、取付道路が狭く、分かりづらい場所にあるので、観光を視野に入れた活用を図り、移設等も検討すべき。</p>
埋蔵文化財課 (阿部参事)	<p>現在の施設は仮設で、大船遺跡の敷地内にある。</p> <p>今後、遺跡と併せた整備を検討することとしている。</p>
事務局 (鎌田課長)	<p>当時、道路を整備するにあたり、周辺の立地条件を考慮した中で、最大限の幅員を確保したものである。</p> <p>バイパスが整備されれば、別のアクセス方法も考えられる。</p>
秋本会長	<p>他に質疑ありませんか？</p> <p>(特になし)</p>

秋本会長	特に無いようなので、報告事項および議題(1),(2)についてはこれで終了する。
7 地域振興全般に関する意見交換について	
秋本会長	7番目の地域振興全般に関する意見交換を行う。 合併後、半年が経過した印象や感想、また18年度に向けての意見などについて、発言していただきたい。
細井支所長	18年度の予算要求については、主要施策3か年計画を基に行われる。
高田副会長	予算要求にあたっては、合併前の各種計画をひとつにまとめた全体計画をもって要求するのか？
細井支所長	合併前の計画は、過疎計画を除き、全て市の計画に包含された。 建設計画や総合計画を網羅したのが、主要施策3か年計画である。 今後、水産振興計画など各種計画が、順次、策定されていくこととなる。
高田副会長	消防体制について、恵山から榎法華地域で火災が発生した際、当地域の消防車と救急車が出動することとなっており、その間、地域で火災が発生した場合は古川、湯川、松陰出張所、救急の場合は古川出張所から20～30分かけて出動すると聞いている。 合併後、このような消防体制になった事は、住民もあまり知らない。 地域消防体制の低下につながる重要な事項と思われるが、体制を移行するにあたり、支所長や消防団と協議がなされていたのか？ 地域の実情を考慮せず、消防本部主導で、マニュアル通りに体制が移行されてしまった事が重大な問題である。 住民の理解を得ながら体制を移行すべきであり、早期に見直してほしい
細井支所長	東消防署の傘下になっており、南茅部から恵山までが出動区域となっている。支所としても、現在の体制が万全ではないと認識しており、8月に防災担当課長と協議する予定である。 市では、消防団は交通整理などの支援にあたっており、消火作業の実働部隊ではないが、当地域としては消防団を活用した応援体制などについて、早い時期に検討していきたい。 大船地区の救急については、榎法華からの応援体制では現場到着まで時間を要するため、鹿部町からの応援協定を結んで対応している。
木村委員	地場産品の消費拡大として、アンテナショップの開設があるが、他に具体的な取り組みはあるのか？
企画部 (梅田室長)	地域の地場産の大きな課題として、後継者不足、そして消費拡大対策が挙げられ、南茅部だけでなく地域共通の事項でもある。

<p>木村委員</p>	<p>具体的には、東京事務所との連携を図るなどの取り組みを行っているところであり、今後、地場産業振興センターの整備や東京など大消費地での販路拡大を図っていくことが必要である。</p> <p>中国からの昆布輸入が問題となっているが、中国国内の昆布消費量は少ないと聞いている。国内だけでなく、中国などに昆布を宣伝して、消費拡大を図ってはどうか？</p> <p>また、職員削減が進められているが、単純に人口割りで支所の職員数を決めないでほしい。</p>
<p>企画部 (梅田室長)</p>	<p>昆布の消費拡大については、ガゴメコンブ増産対策といった学術研究機関との連携を図るなど、国際・水産海洋都市構想の一環として、水産業振興に結びつけられればと考えている。</p> <p>職員削減については、合併前から市が行財政改革を進めてきており、類似の団体よりも職員数が多いことから、削減を行っている。</p> <p>第3次行財政改革の前期分が平成16年度に終了し、後期5ヶ年計画について、取り組みを進めており、17年度から21年度までの5ヶ年で、概ね500人規模の削減を計画している。</p> <p>ただ、支所においては、議会や総務などの管理部門については本庁で集約される業務もあるが、地域事情に応じた職員配置はなされていくと思われる。</p>
<p>鎌田委員</p>	<p>昆布のIQ制度対策を図るため、現在、市内5つの組合で組合長会を立ち上げる運びとなっている。輸入割当は2,960トンだが、平成16年は1,600トンしか輸入されておらず、その背景には中国産昆布の品質が悪く、売れないため、ほとんどが在庫になっているという実態がある。</p> <p>全道の昆布生産量はここ数年2万トン前後だが、それでも在庫を抱えており、その原因が、4千～6千トンともいわれている昆布調製品の輸入である。</p> <p>札幌で開催された昆布懇談会では、IQを撤廃し、この調製品についても原産地標示の義務付けを求めることとしている。</p> <p>また先程、望路漁港の整備について、その必要性についての意見が出されたが、後継者不足ならびに高齢化対策として、背面を整備する目的がある。</p> <p>地場産業振興センターの改修や総合コミュニティセンターの整備については、これまでも様々な場面で議論されてきており、これらが一体化した施設を整備することによって、地域住民が合併の効果を実感できると思う。</p>
<p>高田副会長</p>	<p>中央図書館の図書を、各地域にも配本し貸出できるようにしてほしい。</p> <p>障害者等に対する交通費助成について、当分の間を目途に調整したいとのことだったが、現在、どの程度まで検討されているのか？</p>
<p>細井支所長</p>	<p>中央図書館の図書貸出については、関係部局へ照会したい。</p> <p>交通費助成については、現在調査中であり、その結果を踏まえ、将来の方向性を検討することとなっているので、図書貸出の件も併せて、次の審議会までに回答することとしたい。</p>
<p>秋本会長</p>	<p>他に何か意見等ありませんか？</p>

秋本会長	<p>(特になし)</p> <p>特にないようですので、地域振興全般に関する意見交換はこれで終了します。</p>
8 その他	
秋本会長	<p>8番目のその他について、お手元にある「国際水産・海洋都市構想PRパンフレット」は、すでに全戸へ配布しているので、参考にさせていただきたい。</p> <p>何か質問等ありませんか？</p> <p>(特になし)</p>
秋本会長	<p>各委員ご協力のもと、本日の報告、議案について全て終了した。次回の開催時期は、10月以降を予定しているが、よろしいか？</p> <p>(異議なし)</p>
秋本会長	<p>最後に、今後もこの支所が総合的な機能を発揮し、建設的な意見を述べ合える場となるようお願いして、会議を閉じたい。</p> <p>(午後4時35分、閉会)</p>